

群 教 七	G02 - 03
	平25.251集
	中・社会

中学校歴史的分野における 時代の特色をまとめる力を高める指導の工夫

— キーワードを活用し新聞記事から歴史的事象の
意義を考える活動や新聞作成の活動を通して —

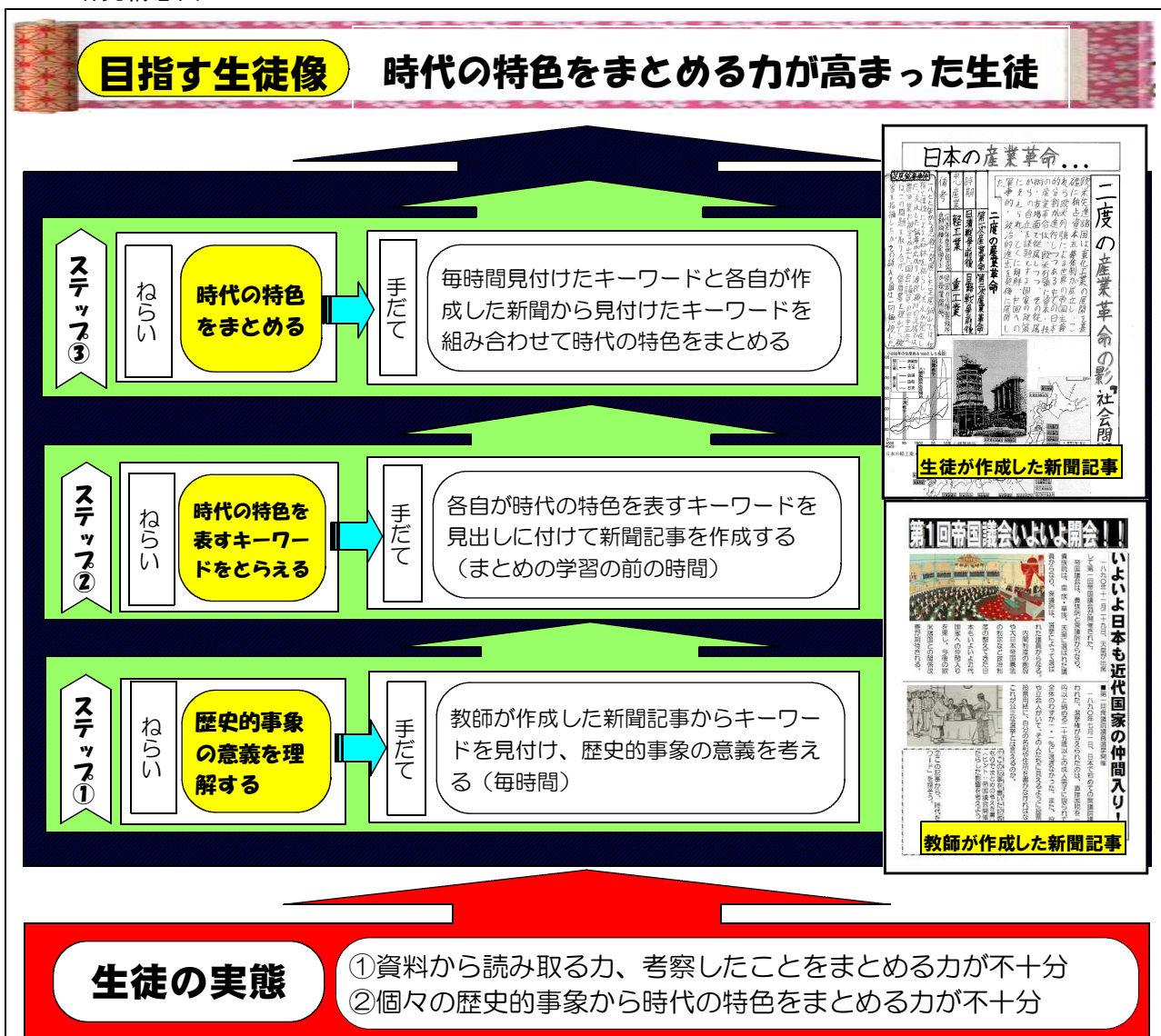
特別研修員 今泉 晃

I 主題設定の理由

「はばたく群馬の指導プラン」の社会科において、「比較・関連付けて考え、社会的事象の特色や意味を理解すること」が挙げられている。さらに、新学習指導要領の「歴史的分野」では「時代や文化の特色を考え、歴史の大きな流れを理解する」ことの充実を求めている。従来の歴史学習では、個別の社会的事象が並列的に扱われ、その特色や意味を理解する学習中心になりがちであった。したがって、今後は学習内容ごとの関係性を重視しながら、学習した内容の比較や関連付け、まとめの過程などを重視し、時代の特色をまとめる学習を積極的に進めていくことが必要であると考え、本主題を設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手だて

実践1では、時代の特色をまとめるために次の三つの手だてを用い、実践を試みた。

— 研究の手だて —

- ①教師が作成した新聞記事からキーワードを見付け、歴史的事象の意義を考える。
- ②各自が時代の特色を表すキーワードを見出しに付けて新聞記事を作成する。
- ③毎時間見付けたキーワードと各自が作成したキーワードを組み合わせることで時代の特色をまとめる。

まず、毎時間ごとに教師が一つの歴史的事象を取り上げ新聞記事を作成した。その記事を基に、歴史的事象の意義を考え、キーワード(時代の特色を表す鍵となる語句)を見付ける学習を行った。歴史的事象の意義については、自分がこの記事を書いた記者になったつもりで、その事象が社会に与えた影響やその後の日本の対応などを考えさせて記述させた。この学習を通して、生徒は歴史的事象の意義を考え、まとめることができるようになっていった。

次に、各自が新聞記事を作成する学習を行った。記事の内容は、事実と考えを記載させた。考えにあたるのは、毎時間取り組んだ歴史的事象の意義と同じものだと言った。自分で新聞を作成することで、資料から必要なことを読み取ることができ、時代の特色を意識したキーワードを見出しに付けることができるようになった。

最後に、毎時間新聞から見付けたキーワードと各自が作成したキーワードを組み合わせることで時代の特色をまとめる学習を行った。まず、個人で時代の特色をまとめ、さらにグループで意見をまとめた。この結果、9割の生徒が時代の特色を簡単な言葉でまとめることができた。しかし、キーワードを一つ使った短い言葉での記述は見られたが、各歴史的事象を比較・関連付けながらキーワードを組み合わせることで時代全体の特色を十分表現できているとは言えず、グループで意見をまとめる際もよく書けた一人の生徒の意見をそのままグループの意見としている状況が見られた。

そこで、実践2では、まとめの段階で次の手だてを追加することにした。

— 追加した手だて —

- ①キーワードを組み合わせることで特色をまとめるように解答例と定型文の提示を工夫する。
- ②グループで意見をまとめる際に、付箋紙を用いて全員で意見をまとめる。

以上のような手だてを追加したことにより、各歴史的事象を比較・関連付けてキーワードを組み合わせたり、まとめたりすることでより長い言葉で時代の特色をまとめることができた。また、付箋紙を使ったことにより、よく書けた一人の意見だけでなく、グループ全員の意見を合わせた特色をすべてのグループが書くことができるようになった。

III 研究のまとめ

1 成果

- 教師が作成した新聞記事からキーワードを見付ける学習や各自が新聞記事を作成する学習を通して、時代の特色を表す事象を意識して学習に取り組むことができるようになった。
- 各歴史的事象の意義を考える学習を行うことで、歴史的事象を比較・関連付けながら時代の流れをとらえることができるようになった。

2 課題

- 生徒のまとめの記述が、時代のある一側面を捉えただけの記述になってしまい、時代全体を大観した記述になっていない状況が見られた。
- 他の時代との比較・関連付けという意識が欠落して、まとめの記述内容に表れていなかった。

3 時代の特色をまとめる活動の改善に向けて

- 時代の特色を明確にするためには、その時代の歴史的事象間の比較・関連付けだけでなく、歴史の大きな流れを把握し、時代と時代を比較・関連付けていく学習活動の充実を図る必要がある。

IV 実践及び改善の実際

実践 1

1 単元名 近代国家への歩み

2 本単元及び本時について

本単元は新学習指導要領（歴史的分野）の内容「(5) 近現代の日本と世界」のイからエを受けて設定されている。ここでは、自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特色を扱う。大日本帝国憲法の制定によって当時の東アジアで唯一の立憲制の国家が誕生したことに着目させ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気付かせたい。また、それらの影響を受けて国民生活が変化することに気付かせるとともに近代文化の形成と文化の大衆化が進んだことを理解させたい。

明治維新後、わが国では「外交」「内政」「生活・文化」の面で急速に「日本国」が形成されていく。そこで、本単元では、上記の三つの視点で歴史的事象を捉え理解させていきたい。明治初期は、近世から近代へと時代が大きく変わる時期であり、歴史の大きな流れと時代の特色の変化をつかませるのに適した単元である。各事象の意義をとらえながら、それぞれの因果関係に着目させることで、思考力・判断力・表現力を身に付けさせたい。

本時は、全7時間計画の第7時に当たり、学習した社会的事象に、毎時間、教師が作成した新聞記事や前時に生徒が作成した新聞記事から見付けたキーワードを組み合わせることで、明治時代前半の特色を捉えることをねらいとしている。

3 授業の実際

(1) **ステップ 1** 歴史的事象の意義を理解する学習

毎時間、教師が作成した新聞記事（図1）を読んで、記事に書かれた歴史的事象の意義を記者になったつもりで、自分の考えを記入する。

【留意点】

- ・事象が社会に与えた影響やその後の日本の対応を入れる。

【生徒が書いた歴史的事象の意義の例】

- ・国会開設により条約改正に近づくであろう。
- ・帝国議会の開会により欧米諸国に近づくであろう。

(2) **ステップ 2** 時代の特色を表すキーワードを捉える学習

- ① 毎時間、教師が作成した新聞記事（図1）からキーワードを見付ける学習を行う。
- ② 生徒がそれぞれキーワードを見出しに付けた新聞記事（図2）を作成する。

(3) **ステップ 3** 時代の特色をまとめる学習

- ① 新聞記事（図2）から時代の特色を表すキーワードを見付ける。新聞記事は、教師が提示した歴史的事象から一つ選んで全員が前時に作成したものをを用いる。まずは同じ歴史的事象を選んだ生徒同士でグループをつくり、キーワードを確認したあとで、他の歴史的事象を選んだグループを回って確認させる。

【留意点】

- ・キーワードを見付けさせる際に、右側の見出しに注目させる。

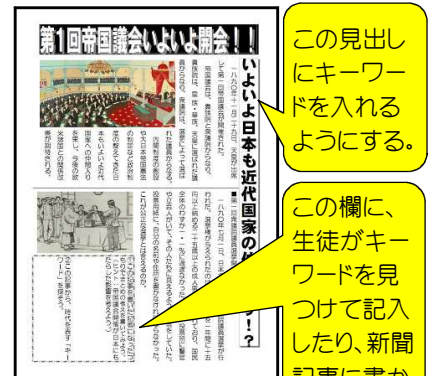


図1 教師が作成した新聞

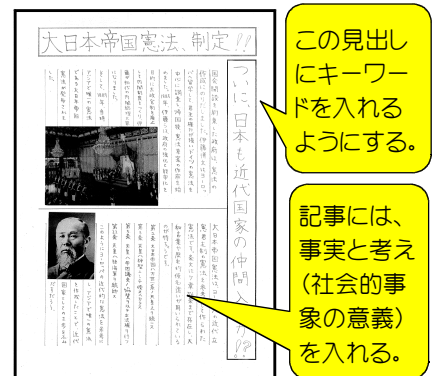


図2 生徒が作成した新聞

- ・見出しにキーワードを入れて作成するよう事前に指導しておく。
- ②個人が作成した新聞記事から各グループの代表として教師が選んだものを実物投影機で提示し、全員にキーワードを確認させる。
- ③個人で明治時代の特色をまとめる活動を行う。

【留意点】

- ・明治政府が行った政策と関連付けながらまとめるように促す。
- ・新聞記事を見た際に見付けたキーワードを組み合わせるよう促す。
- ④グループで意見をまとめさせ、最後に、グループごとにまとめた特色を発表して考えを深める。(図3)

【生徒がまとめた時代の特色の例】

- ・日本が**近代国家**になった時代
- ・欧米の文化や制度を取り入れて**近代化**した時代
- ・日本が**列強の仲間入り**をした時代
- ・**日本国民が形成**されていった時代

※太字は、**キーワード**となる言葉。

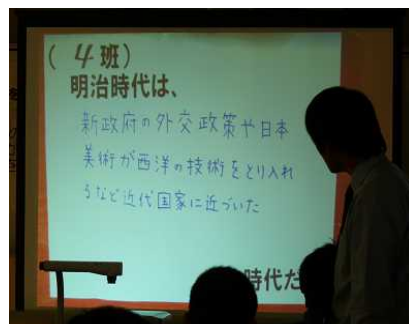


図3 実物投影機を使って確認している様子

4 考察

(1) 資料から読み取る力、考察したことをまとめる力の向上について

- 新聞記事からキーワードを見付ける学習を毎時間繰り返したことにより、普段からキーワードを意識して授業に取り組むことができるようになり、新聞からだけでなく、教科書や資料集などからもキーワードを見付けることができるようになった。
- 新聞記事を読んで、記事に書かれた歴史的事象の意義を記者になったつもりで考えを記入する学習を毎時間繰り返したことにより、単に歴史的事象を丸暗記するだけでなく、歴史的事象の影響や政府の方針について考えることができるようになった。
- 教師が作成した新聞記事を基に歴史的事象の意義を考える学習では、意義が全く書けない生徒や教科書の本文を丸写しする生徒がおり、書き方の例示や生徒による学び合い活動の導入が必要であると感じた。

(2) 個々の歴史的事象から時代の特色をまとめる力の向上について

- キーワードを使ったまとめ方の例示によって、時代の特色をまとめることを苦手としていた生徒も時代の特色をまとめることができるようになった。
- 個人でまとめた時代の特色をグループでさらに考えさせたことで、より深く時代の特色をとらえることができた。
- 教師が示したまとめ方の例と解答例(下記【教師が示したまとめ方の例と模範解答】)も生徒の解答(上記【生徒がまとめた時代の特色の例】)もキーワードを一つ使っただけの短いものだったので、政策との関連付けを図るとともに、いくつかのキーワードを組み合わせたまとめの文章になるように継続して指導していきたい。

【教師が示したまとめ方の例と模範解答】

- ・まとめ方の例：明治時代前半は、○○な時代(○○した時代)だ。
※(○○には、キーワードをまとめて簡単な言葉で表す。)
- ・解答例：江戸時代は、**鎖国体制**のもと平和な**封建体制が確立**した**庶民が力を発揮**した時代だ。

実践 2

1 単元名 日清・日露戦争と産業革命（帝国主義と日本、「一等国」の光と影）

2 本単元及び本時について

本単元は新学習指導要領（歴史的分野）の内容「(5) 近現代の日本と世界」のウとエを受けて設定されている。本単元では、大陸をめぐる当時の国際情勢を背景に、日清・日露戦争に至るまでの我が国の動き、日清・日露戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化、産業革命とその影響などを扱う。ここでは、イギリスをはじめとした欧米諸国の東アジアでの植民地獲得競争という当時の国際情勢を踏まえながら、日本と中国・朝鮮・ロシア・アメリカとの関係について学ぶ。これは、新学習指導要領の歴史的分野の目標である「我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させること」を目指すのに適した教材であると考えられる。また、本単元は、日本の近代化とアジアへの進出、国際的地位の向上とが重層的になっており、特に日清戦争と日露戦争はその後の日本の歴史に大きな影響を及ぼしている。つまり、この二つの対外戦争に勝つことで、日本は朝鮮半島及び中国大陸へ進出し、条約改正を果たして列強に加わることができた。日本にとって時代の転換期であり、日本の歴史の大きな流れと時代の特色の変化を理解させるのに適した単元であると考えられる。

本時は、全8時間計画の第8時に当たり、学習した社会的事象に、毎時間、教師が作成した新聞記事や前時に生徒が作成した新聞記事から見付けたキーワードを組み合わせることで、明治時代後半の特色を捉えることをねらいとしている。

3 授業の実際

(1) **ステップ1** 歴史的事象の意義を理解する学習

毎時間、教師が作成した新聞記事（図4）を読んで、記事に書かれた歴史的事象の意義を記者になったつもりで自分の考えを記入する。

【留意点】

- ・学び合い活動を取り入れて生徒同士で意見交換をさせる。

【生徒が書いた歴史的事象の意義の例】

- ・環境よりも利益を優先したため、公害が起こった。
- ・農民たちより会社の意見の方が重要だと考えられたから。

(2) **ステップ2** 時代の特色を表すキーワードを捉える学習

- ① 毎時間、教師が作成した新聞記事（図4）からキーワードを見付ける学習を行う。
- ② 生徒がそれぞれキーワードを見出しに付けた新聞記事（図5）を作成する。

【留意点】

- ・正しいキーワードが書けているか見出しを確認する。

(3) **ステップ3** 時代の特色をまとめる学習

- ① 生徒が作成した新聞記事（図5）から時代の特色を表すキーワードを見付ける。新聞記事は、教師が提示した歴史的事象から一つ選んで全員が前時に作成したものをを用いる。まずは同じ歴史的事象を選んだ生徒同士でグループをつくり、キーワードを確認したあとで、他の歴史的事象を選んだグループを回って確認させる。

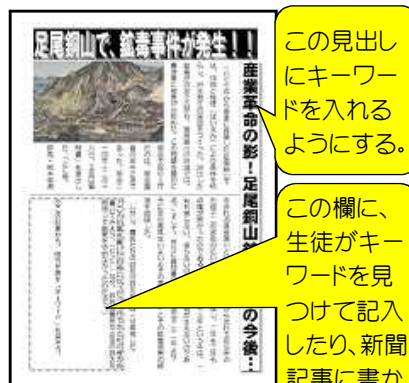


図4 教師が作成した新聞

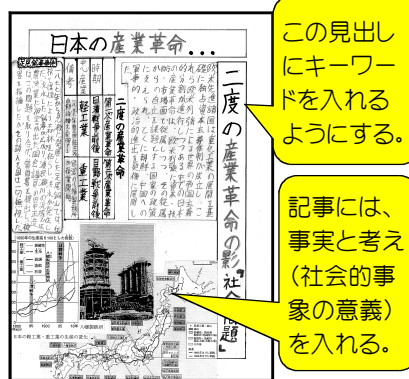


図5 生徒が作成した新聞

【留意点】

- ・キーワードを見付けさせる際に、右側の見出しに注目させる。
 - ・見出しにキーワードを入れて作成するよう事前に指導しておく。
- ②個人が作成した新聞記事から各グループの代表として教師が選んだものを実物投影機で提示し、全員にキーワードを確認させる。
- ③個人で明治時代の特色をまとめる活動を行う。

【留意点】

- ・明治政府が行った政策と関連付けながらまとめるように促す。
- ・新聞記事を見た際に見付けたキーワードを組み合わせるようまとめるように促す。

【追加した手だて①】

- ・キーワードを組み合わせるよう特色をまとめるよう解答例と定型文の提示を工夫した。

【教師が示したまとめ方の例と解答例】

- ・まとめ方の例：明治時代後半は、□□の結果（□□には歴史的事象が入る）、○○な時代（○○した時代だ）。※（○○には、キーワードをまとめて短い文で表す）
- ・解答例：明治時代前半は、**欧米の進んだ制度や技術**を取り入れて**近代的な国家**を作りあげようとした時代だ。

- ④グループで意見をまとめさせ、最後に、グループごとにまとめた特色を発表して考えを深める。

【追加した手だて②】

- ・グループで意見をまとめる際に、付箋紙を用いて全員で意見をまとめる。（図6）

【生徒がまとめた時代の特色の例】

- ・日清、日露戦争の結果、**条約改正**に成功し、**列強の仲間入り**を果たした時代。
 - ・**技術が進歩**し、二度の戦争に勝利して、**条約も改正**され、**欧米諸国と対等な関係**を築いた時代。
- ※太字は、**キーワード**となる言葉。

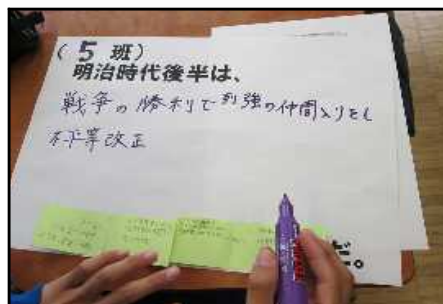


図6 付箋紙を用いたまとめる活動

4 考察

(1) 資料から読み取る力、考察したことをまとめる力の向上について

- 新聞記事を基に歴史的事象の意義を考える学習では、前回の実践で、意義が全く書けない生徒や教科書の本文を丸写しする生徒がいたが、学び合い活動を取り入れて意見交換をしたことにより、自分の言葉で意義を書ける生徒が多くなった。
- 学び合い活動では、分かる生徒の文章を写してしまう生徒もいることから、授業中に重要なことを確認していくとともに、繰り返し意義を考える学習を取り入れていく必要がある。

(2) 個々の歴史的事象から時代の特色をまとめる力の向上について

- 生徒がまとめた時代の特色は、前回の実践では、教師が示したまとめ方の例と模範解答（江戸時代の特色）、生徒の解答ともにキーワードを一つ使っただけの短いものが多かったが、教師が示したまとめ方の例と模範解答を工夫したことにより、上記（【生徒がまとめた時代の特色の例】）のようにいくつかのキーワードを組み合わせる文をつくれるようになった。
- グループで意見をまとめる際に、前回の実践では、よく書けている一人の意見をグループの意見としていたものが多かったが、付箋紙を用いてみんなで意見をまとめる活動を行ったことにより、すべてのグループが全員の意見を総合してまとめることができるようになった。
- 時代の特色の記述が、まだ時代の一部のみのものが多いので、さらにもう一步レベルアップさせて、時代全体を大観したまとめの文章になるように活動を継続していきたい。